

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備 総合交付金（道路事業）		路線又は箇所名等		主要地方道銚子海上線 清滝バイパス		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成 8年度	用地着手年度	平成 8年度	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成12年度 平成31年度	再評価の理由	再評価		
費用便益比 B/C	1.2 (2.6)	総費用	59億円 (24億円)	総便益	68億円 (62億円)	基準年	平成 27年度	供用開始 年度	平成 32年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目的)

(主)銚子海上線は、利根川対岸の茨城県につながる「利根かもめ大橋」の銚子市側を起点として旭市までを結ぶ道路で、旭市側で国道296号につながる東総広域農道とも接続し、茨城県神栖市と旭市、匝瑳市、成田空港方面を接続する重要な道路である。このうち銚子市から旭市境付近までは改良済みとなっているが、旭市内の東総広域農道までの区間においては、集落部で歩道未設置区間が存在し、また狭隘区間や急勾配区間、見通しの悪い急カーブが存在している。

当該事業は、これらの問題箇所を回避するためのバイパス（L=2.6km）を整備するものであり、安全性の向上、走行性向上による地域連携支援、地域医療サービスの向上を図ることを目的としている。

【事業の進捗状況】（平成27年度末見込み）

	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率
事業費（億円）	52.8	25.7	27.1	48.7%
うち用地補償費	10.1	10.1	0.00	100%
うち工事費	37.1	10.3	26.8	27.9%

【社会経済情勢等】

当該道路は銚子海上線は茨城県神栖市と接続する利根かもめ大橋と、成田方面へ向かう東総広域農道や東金方面へ向かう国道126号の連絡ルートとなっており、物流車両の利用も多い。

当該事業の起点から終点までの現道部では、平成23年から平成25年までの3年間で7件の事故が発生しており、そのうち正面衝突事故が半数近くを占めている。また現道は集落部でも歩道が未設置が狭小となっている区間が多く、安全性の向上が求められている。

当該道路が接続する銚子市西部地区、また利根川対岸の茨城県神栖市では、医療サービスが十分でなく、旭市に位置する国保旭中央病院へ救急搬送が多く行われている。

【対応方針（案）】 継続

費用便益比（B/C）は1.2（残事業2.6）であり、費用対効果が見込まれる。整備効果として、交通転換による歩行者及び自動車の安全性向上、移動時間短縮・走行性向上による広域連携の支援、救急医療機関への移動時間短縮・走行性向上による医療サービスの向上が期待されることから、早期供用に向け事業を継続したい。

【別紙様式 4】

